

『ドコビジタ』利用規約

第1章 総 則

(サービスの提供)

- 第1条 ビーウィズ株式会社(以下「ビーウィズ」といいます)は、以下の通り利用規約(以下「本規約」といいます)を定め、本規約に基づき、『ドコビジタ』を提供するものとします。
- 『ドコビジタ』は、ビーウィズを開発元および提供元として、利用者に提供するものとします。
 - 『ドコビジタ』は、法人その他の団体、および事業としてまたは事業のために契約の当事者となる場合における個人(以下「個人事業者」といいます)への提供に限るものとします。

(定義)

- 第2条 本規約においては、次の用語をそれぞれ次の意味で使用します。
- 本サービス:『ドコビジタ』に含む一切のサービス、および当該サービスに付随してビーウィズが付加・提供するサービスの全て
 - 利用申込者:本サービスの利用を希望する者
 - 利用者:利用契約に基づき本サービスを利用する者
 - 利用者情報:利用申込者が、本サービスの利用申込みにあたりビーウィズの定める書式に入力または記載してビーウィズに提供する利用者の情報
 - 利用契約:本規約に基づきビーウィズと利用者との間に締結される本サービスの提供に関する契約
 - 消費税等:消費税法および地方税法ならびにこれらの法に関連する法令の規定に基づき課税される消費税および地方消費税に相当する額としてビーウィズが利用者より受領するもの
 - 管理者アカウント:本サービスの利用上、アカウント管理の権限を与えられたアカウント
 - スタッフアカウント:管理者アカウントユーザーよりアカウント設定を受け、本サービスが利用できるアカウント

(通知)

- 第3条 ビーウィズから利用申込者および利用者(以下、総称して「利用者等」といいます)への通知は、本規約または利用契約によって別段の定めをするものを除き、電子メールの送信、書面の送付またはビーウィズの web サイトへの掲載など、ビーウィズが適当と判断する方法により行います。
- 前項の規定に基づき、利用者等への通知を電子メールの送信、書面の送付または web サイトへの掲載の方法により行う場合には、利用者等に対する当該通知は、それぞれ電子メールの発信、書面の発送または web サイトへの掲載がなされた時点から効力を生じるものとします。
 - 利用者等からビーウィズへの通知は、本規約または利用契約に別段の定めをするものを除き、電子メールまたは書面等の記録性のある方法によって行うものとします。
 - ビーウィズは、利用者等が前項に従った通知を怠ったことにより利用者等が通知の不到達その他の事由により損害を被った場合であっても、一切責任を負わないものとします。

(利用規約)

第4条 利用者は、本サービスの利用につき本規約に従うものとします。なお、利用申込者は、第6条(利用契約)第2項の定めに従って本サービス利用の申込みを完了した時点で、本規約の全てについてビーウィズとの間において合意したものとみなします。

2. 本規約は、利用者の本サービスの利用について遵守すべき事項を定めるものであり、ビーウィズが提供する本サービスの利用に関するビーウィズと利用者との間の全ての契約において適用されます。
3. 本規約のほか、本サービスの利用申込みまたは利用に関する、ビーウィズから利用者等への通知または連絡、マニュアル、FAQ、その他名称および目的の如何にかかわらず、ビーウィズによる本サービスの利用に関する記述等の一切(以下、総称して「利用規約等」といいます)は、それぞれ本規約の一部を構成するものとします。ただし、本規約とその他の記述等の間で矛盾・齟齬がある場合は、別段の定めをするものを除き、本規約が優先して適用されるものとします。
4. 前項ただし書きの定めにかかわらず、ビーウィズが第6条(利用契約)に規定する利用契約において、本規約と異なる事項を承諾した場合、当該利用契約の内容が優先されます。その場合、当該事項は、本規約の他の事項に何ら影響を及ぼさないものとします。

(利用規約の改定)

第5条 ビーウィズは、本規約を随時改定することがあります。なお、この場合には、効力発生時期を定めたうえで、改定後の規約内容および効力発生時期をインターネットの利用その他の適切な方法により周知します。

2. 利用者は、前項の定めに従って本規約が改定された場合、当該改定内容について合意したものとみなされることにつき、予め承諾するものとします。

(利用契約)

第6条 ビーウィズと利用申込者は、本サービスの利用に関し次項以下の定めに従って利用契約を締結するものとします。

2. 利用申込者は、本規約を承諾の上、所定の利用申込フォームから必要事項を記載し、ビーウィズに提出することで、本サービスの利用を申込みます(以下「利用申込み」といいます)。
3. ビーウィズは、利用申込みを完了した利用申込者に対し所定の審査を行い、判定結果を第3条(通知)に定める方法によって通知するものとします。
4. ビーウィズは、前項に定める審査の結果に基づき利用申込者の申込みを承諾した場合は、サインイン用メールの送信をもって本サービスの利用資格を当該利用申込者に対し付与します。なお、次の場合、ビーウィズは、利用申込者に理由を一切開示することなく利用申込みを承諾しないものとします。
 - (1) 過去に本サービスに関する金銭債務の不履行、その他利用規約等に違反したことを理由として利用契約を解除されたことがあるとき
 - (2) 利用申込みの内容が虚偽である、または虚偽のおそれがあると判断した場合
 - (3) 過去に本規約に違反した者またはその関係者であることが明らかである場合
 - (4) 法人または個人事業者以外であることが明らかである場合
 - (5) 第28条(反社会的勢力に関する表明・保証)への違反、またはそのおそれがあると判断した場合
 - (6) その他、相当の理由により利用者として不適切であると判断した場合

5. 利用契約は、前項に定めるサインイン用メールを利用申込者が受領し、初期登録が完了した日をもって成立するものとし、この日が属する月の初日を本サービスの利用開始日（以下「利用開始日」といいます）とします。
6. 第4項第4号の規定にかかわらず、利用申込者が、利用申込みの際、法人または個人事業者である旨を表明した場合、当該利用申込者は、法人または個人事業者でないことをもって、利用契約上の義務を一切免れることはできないものとします。
7. 利用契約の申込み承諾後であっても、ビーウィズが、利用者等において第4項各号のいずれかに抵触する事由が生じていると判断した場合、第11条（ビーウィズからの利用契約の解約）に基づき、利用契約を中途解約することができるものとします。
8. 利用者は、原則として第9条に定める無料期間の終了時まで支払情報を登録するものとします。
9. 利用者が前項に定める期日までに支払情報等の登録を行わなかったときは、当該期日を含む月の当月末日で利用契約は終了するものとします。ただし、当該終了月の翌月中に支払情報の登録がなされた場合は、当該支払情報の登録月の初日に遡って利用契約を再開できるものとします。

(利用者情報の変更・削除)

- 第7条 利用者は、利用者情報に変更が生じた場合、電子メールにより、ビーウィズに対し遅滞なくその旨および変更後の利用者情報を通知するものとします。なお、ビーウィズは、変更された情報に何らかの疑義があると判断した場合、利用者に変更情報を確認する場合があります。ただし、当該変更情報の確認は、ビーウィズの独自の裁量により行われるものであり、いかなる意味においてもビーウィズの義務を構成するものではありません。
2. 利用者が利用者情報の変更の通知を怠ったことに起因し、ビーウィズからの通知、もしくは送付された書類が延着し、または到達しなかった場合も、当該通知・書類は通常到達すべき時に到達したとみなします。
 3. 利用者が利用者情報の変更の通知を怠ったことに起因し、利用者または第三者に生じた損害について、ビーウィズは、一切の責任を負いません。
 4. 利用契約終了の翌日から1ヶ月を経過する日までに本サービスの利用の再開申し込みがなされない場合、ビーウィズは利用者何らの通知等を行うことなく利用者情報の登録を削除するものとします。

(契約期間および利用期間)

- 第8条 サービスの利用期間は、利用開始日から、第10条（利用者からの利用契約の解約）の定めに基づく解約月の末日までとします。
2. 希望解約月の月末10日以上前までに利用者からの解約申し出が無い場合、解約月が希望解約月の翌月となり、解約月までの利用料金の支払い義務が発生いたします。なお、第9条に定める無料期間中は本項の定めを適用しないものとします。
 3. 利用契約が更新されないこととなった場合、利用者のアカウントは当該利用期間の満了日をもって全て無効化され、その翌日以降、利用者は本サービスを一切利用できなくなるものとします。

(無料期間)

- 第9条 利用者が本サービスを初めて利用する場合、利用開始日の属する月から最長で翌月末までの間は無料期間(以下「無料期間」といいます)とし、利用者には原則として月額利用料および最大30件分の従量課金分(オプションを含み、以降も同様とします)の支払い義務が発生しないものとします。
2. 前項の定めにかかわらず、以下のいずれかに該当する場合、無料期間は終了するものとします。
 - (1) 訪問件数が30件(途中キャンセルされたものも訪問件数に含まれます)を超過した場合
 - (2) 利用者が支払情報の登録を行った場合
 3. 前項第2号に該当する場合、月額利用料については翌月から、従量課金分については利用開始日から支払情報の登録月までの訪問件数を通算して30件を超えたものにつき当月から、それぞれ利用料金を支払うものとします。なお、この場合、利用者が支払情報の登録を行った当月までの訪問件数が利用開始日から通算して30件を超えないときも、無料対象の訪問件数は翌月には繰り越されず、利用者は翌月から訪問1件毎に利用料金を支払うものとします。

(利用者からの利用契約の解約)

- 第10条 利用者は、利用契約の解約を希望する場合、解約を希望する月の末日から起算して暦日10日前までにビーウィズ所定の窓口にメールにて解約の申し出をする方法により、ビーウィズにその旨を通知するものとします。解約申込は、利用者からの解約希望メールがビーウィズに到達した時点において効力を発生するものとします。なお、当該解約申込の効力発生時点において利用者に未払いの利用料金等または支払遅延損害金がある場合、利用者は、直ちにこれらを支払うものとします。

(ビーウィズからの利用契約の解約)

- 第11条 ビーウィズは、利用者が次の各号のいずれかに該当すると判断した場合、利用者への事前の通知または催告を要することなく即時に利用契約を解約することができるものとします。また、この場合において、ビーウィズは解約によって利用者が生じた損害等を賠償する責任を一切負わないものとし、かつ利用者に対し、自己が生じた損害の賠償を請求することを妨げられないものとします。
- (1) 支払停止または支払不能となった場合
 - (2) 手形または小切手が不渡りとなった場合
 - (3) 差押え、仮差押え、仮処分もしくは競売の申立があったときまたは公租公課の滞納処分を受けた場合
 - (4) 破産手続、特別清算手続、会社更生手続の開始もしくは民事再生手続の開始の申立を受け、または自ら申立を行った場合、資産または信用状態に重大な不安が生じた場合
 - (5) 監督官庁から営業許可の取消、停止等の処分を受けた場合
 - (6) 利用規約等に違反しビーウィズがかかる違反の是正を催告した後、合理的な期間内には是正されない場合
 - (7) 合併、会社分割、解散、減資、営業の全部または重要な一部の譲渡等の決議をした場合
 - (8) 利用者情報その他ビーウィズに対して通知した内容等に虚偽があった場合、第6条(利用契約)第4項各号のいずれかに該当する事由があると判明した場合
 - (9) 不可抗力その他の事由に基づき、利用契約を履行することが困難となる事態(第36条(免責)に定める事由による場合を含む)が生じた場合
 - (10) その他、前各号に準じる事由が生じた場合

2. 利用者は、前項による利用契約の解約があった場合、ビーウィズに対する一切の債務について期限の利益を喪失するものとします。当該解約の時点において未払いとなる月額利用料、解約月月末までの従量課金分、または支払遅延損害金がある場合には、これらを全額一括にて直ちに支払うものとします。
3. 本条に基づいて利用契約が解約された時点で、ビーウィズは当該利用契約に基づく一切のサービスの提供義務を負わないものとします。

第2章 サービス

(本サービスの提供区域)

第12条 本サービスは、日本国内のインターネット通信が利用可能な区域において提供されるものとします。

(アカウントの管理)

- 第13条 利用者は、自己において本サービスを利用するためのアカウント管理を実施する者(以下「アカウント管理者」といいます)を定め、アカウント管理者は管理者アカウント、スタッフアカウント等の追加登録、変更、削除をビーウィズが指定する方法により行うものとします。
2. 利用者は、管理者アカウント、スタッフアカウントを自己以外の第三者に開示、貸与、共有しないとともに、第三者に漏洩することのないよう厳重に管理するものとします。アカウントの管理不備、使用上の過誤、第三者の使用等により利用者自身およびその他の者(当該第三者を含む)が損害を被った場合、ビーウィズは一切の責任を負わないものとします。なお、利用者のアカウントを用いて本サービスが利用された場合、全て利用者による利用とみなすものとします。なお、アカウントの第三者への承継、譲渡または売買は禁止するものとします。
 3. ビーウィズは、利用者のアカウントが不正に使用されたことを発見した場合、第17条(一時的な中断および提供停止)第3項に基づき、本サービスの提供を停止することができるものとします。ただし、当該本サービスの提供停止については、ビーウィズの独自の裁量によって行われるものであり、いかなる意味においてもビーウィズの義務を構成するものではないものとします。

(本サービス利用時の同意事項)

第14条 利用者は、本サービスの利用にあたり、予め次の事項に同意します。

(1) 本サービス全般

- ① ビーウィズは、本サービスについて、利用者に適用のある法令、業界団体の内部規則等への適合性について保証しないこと
- ② 利用者は、本サービスを利用するために必要なあらゆる機器、ソフトウェア、通信手段を自己の責任と費用において準備すること
- ③ 利用者は、自己の利用環境に応じて、コンピュータウィルスの感染の防止、不正アクセスおよび情報漏洩の防止等のセキュリティ対策を講じること
- ④ 利用者は、本サービスの利用にあたり、ビーウィズに対して提出するデータの複製、送信等をビーウィズに行わせるために必要な一切の権利を有していること、ならびに当該データは、ビーウィズ、他の利用者または第三者の権利を侵害するものではないことを保証すること

- ⑤ 第36条(免責)に規定する事由のほか、ビーウィズの責めに帰すべからざる事由によるデータの消失、紛失、漏洩、破損等が発生した場合、ビーウィズは、これらの事由に起因して、利用者または第三者に生じた損害について、一切の責任を負わないこと
- ⑥ ビーウィズは、本サービスを実施することで得た新たな技術、ノウハウ等を利用し、新規のサービス、事業を企画、開発および実施できること
- ⑦ ビーウィズは、本サービスの仕様等を、利用者への予告等なく変更し、または取り扱いを中止する場合があること

(サポート)

第15条 ビーウィズはサポートサービスとして、本システムに関するトラブルおよび利用に関する利用者からの問い合わせを受け付けます。尚、サポートサービスに関する受付は、当社所定の web サイト上のフォームまたは電子メールにて受け付けます。

(委託)

第16条 ビーウィズは、利用者に対する本サービスの提供に関して、外部サービス等を利用することに加え、その必要となる業務の全部または一部(前条に定めるサポートサービスを行うシステム事業者等を含みます)を、ビーウィズの判断のもと、第三者に委託することができます。この場合、ビーウィズは、当該委託先(以下「委託先」といいます)に対し、本規約によってビーウィズが負う責任と同等の義務を委託先に負わせるものとします。

(一時的な中断および提供停止)

第17条 ビーウィズは、次の各号のいずれかに該当する場合には、利用者への事前の通知または承諾を要することなく、本サービスの提供を中断することができるものとします。

- (1) 本サービス用設備等の故障またはそのおそれがあるときに、緊急で保守を行う場合
 - (2) 外部サービス等の不具合、または本サービスの運用上もしくは技術上の不具合による場合
 - (3) 第36条(免責)第1項第1号に規定する不可抗力事由等により本サービスを提供できない場合
2. ビーウィズは、本サービス用設備等を定期または随時に点検を行うときは、あらかじめ通知の上、本サービスの提供を一時的に中断できるものとします。ただし、緊急やむを得ない場合は通知なく中断する場合があります。
3. ビーウィズは、利用者が利用料金その他の債務について、支払期日を経過してもなお支払わないとき、またはその他利用規約等への違反もしくはそのおそれがあると判断したときは、利用者への事前の通知または催告を要することなく、当該利用者に対する本サービスの全部または一部の提供を停止することができるものとします。
4. ビーウィズは、前3項に定める事由のいずれかにより本サービスを提供できなかったことに関して利用者またはその他の第三者が損害を被った場合であっても、利用料金の返還等を含め一切責任を負わないものとします。

(本サービスの廃止)

第18条 ビーウィズは、次の各号のいずれかに該当する場合、本サービスの全部または一部を廃止するものとし、廃止日をもって利用契約の全部または一部を解約することができるものとします。

- (1) 廃止日の3ヶ月前までに利用者に通知した場合
 - (2) 第36条(免責)第1項第1号に規定する不可抗力事由等により本サービスを提供できない場合
 - (3) 外部サービス等の終了または不具合の復旧が見込めない場合
 - (4) その他運用上または技術上の問題等により本サービスを提供することが困難となった場合
2. 前項各号に基づき本サービスの全部または一部を廃止する場合、ビーウィズは、既に支払われている利用料金がある場合、そのうち月額利用料について、廃止する本サービスを提供しない日数に対応する額を日割計算にて利用者に返還するものとします。
 3. ビーウィズは、前項各号に基づき本サービスの全部または一部を廃止することとなった場合に、利用者またはその他の第三者が損害を被った場合であっても、一切責任を負わないものとします。

(知的財産権等)

- 第19条 本サービスにおいてビーウィズが利用者に提供する一切の物品等および本サービス提供のために使用する一切の物品等(利用規約等、各種ソフトウェア、プログラム、取扱マニュアル、メールマガジン等を含みます)に関する著作権、特許権、商標権、ノウハウ等の一切の権利・利益は、ビーウィズまたは当該物品等の使用をビーウィズに対して許可する者に帰属するものとします。
2. 本規約に定める本サービスの利用許諾は、本サービスに関するビーウィズの知的財産権等の使用許諾を意味するものではありません。

第3章 利用料金

(本サービスの利用料金、算定方法等)

- 第20条 本サービスの利用料金、算定方法等は、別紙1「料金表」に定めるとおりとします。
2. ビーウィズは、利用契約の期間内であっても、各種調達費用(物品、外部サービス等、システム環境、要因その他全てを含む)、本サービスの提供に供するための設備等を設置する土地建物の賃料および人件費等の上昇、ならびに公租公課、為替、およびその他の経済事情の変動等により不相当と認められるに至ったときは、利用料金を改定することができるものとします。

(利用料金の支払義務)

- 第21条 利用者は、利用期間に基づき月ごとに利用料金を支払うものとします。なお、利用者が利用料金の支払を完了しない場合、ビーウィズは、第17条(一時的な中断および提供停止)第3項に基づき本サービスの提供を停止するほか、これによって生じた費用等を利用者に請求することができるものとします。
2. 利用期間において、第17条(一時的な中断および提供停止)第1項または第2項に基づく本サービスの提供の中断、停止その他の事由により、利用者が本サービスを利用することができない状態が生じたときであっても、利用者は、利用期間中の利用料金の支払を免れないものとします。

(利用料金の支払方法)

- 第22条 利用者は、利用契約で合意した利用料金を毎月月末締め翌月末日までにビーウィズが指定する方法によって支払うものとします。なお、支払に必要な振込手数料その他の費用は、利用者の負担とします。

2. 利用者は、利用料金の支払いに際し、当該利用料金にかかる消費税等相当額を別途加算して支払うものとします。
3. 利用料はビーウィズが請求処理をする時点で登録をされている請求先に請求するものとします。

(遅延利息)

- 第23条 利用者が、本サービスの利用料金その他の利用規約等に基づく債務を所定の支払期日が過ぎてもなお履行しない場合、利用者は、所定の支払期日の翌日から支払日までの日数に、年3%の利率で計算した金額を延滞利息として、支払うものとします。
2. 前項の支払に必要な振込手数料その他の費用は、利用者の負担とします。

第4章 利用者の義務等

(自己責任の原則)

- 第24条 利用者は、本サービスの利用に伴い、自己の責に帰すべき事由で第三者(当該第三者の本拠地が国内か国外かを問いません。本章において以下、同じとします)に対して損害を与えた場合、または第三者からクレーム等の請求がなされた場合、自己の責任と費用の負担をもって処理、解決するものとし、ビーウィズに一切迷惑をかけないものとします。利用者が本サービスの利用に伴い、第三者から損害を被った場合、または第三者に対して苦情等を申し入れる場合においても同様とします。
2. 本サービスの利用にあたり利用者が提供または伝送する情報については、利用者の責任で提供されるものであり、ビーウィズはその内容等についていかなる保証も行わず、また、それに起因する損害についてもいかなる責任も負わないものとします。
 3. 本サービスの利用に伴い、利用者が第三者より知的財産権等の侵害を理由に何らかの請求を受け、または提訴されたときは、遅滞なくビーウィズに通知するものとします。

(利用者の秘密保持義務)

- 第25条 利用者は、本サービスに関連してビーウィズが利用者に対して秘密に扱うことを指定して開示した情報について、ビーウィズの事前の書面による承諾がある場合を除き、開示目的以外に利用せず、また、第三者に開示または漏洩しないものとします。

(本サービス利用のための設備設定・維持)

- 第26条 利用者は、自己の責任と費用の負担をもって、ビーウィズが定める条件にて利用者設備を設定し、利用者設備および本サービス利用のための環境を維持するものとします。
2. 利用者は、本サービスを利用するにあたり自己の責任と費用の負担をもって、電気通信事業者等の電気通信サービスを利用して利用者設備をインターネットに接続するものとします。
 3. 利用者設備、前項に定めるインターネット接続ならびに本サービス利用のための環境に不具合がある場合、ビーウィズは利用者に対して本サービスの提供の義務を負わないものとします。
 4. ビーウィズは、ビーウィズが本サービスに関して保守、運用上または技術上必要であると判断した場合、利用者が本サービスにおいて提供、伝送するデータ等について、監視、分析、調査等必要な行為を行うことができます。

(禁止事項)

第27条 利用者は本サービスの利用に関して、以下の行為を行わないものとします。

- (1) ビーウィズまたは第三者の著作権、商標権、特許権、ノウハウなどの知的財産権、プライバシー、名誉、信用、肖像権その他の権利または利益を侵害する行為、または侵害するおそれのある行為
 - (2) 本サービスのネットワークまたはシステム等に過度の負担をかける行為
 - (3) 本サービスのネットワークに不正にアクセスする行為
 - (4) 本サービスの全部または一部の複製・改変・編集・消去・他のプログラム等との結合・リバースエンジニアリング・逆アセンブル・逆コンパイル等またはミラーサイト構築等の行為
 - (5) 本サービスの内容や本サービスにより利用しうる情報を改ざんまたは消去する行為
 - (6) 不正に本サービス利用料金の支払いを免れる、または不正に本サービスの提供を受ける行為
 - (7) 利用規約等に違反して、第三者に本サービスを利用させる行為
 - (8) 法令もしくは公序良俗に違反し、またはビーウィズもしくは第三者に不利益を与える行為
 - (9) ビーウィズまたは第三者を差別もしくは誹謗中傷し、またはその名誉もしくは信用を毀損する行為
 - (10) 詐欺等の犯罪に結びつくまたは結びつくおそれがある行為
 - (11) わいせつ、児童ポルノまたは児童虐待にあたる音声、画像、動画、文書等を送信または添付する行為
 - (12) 第三者になりすまして本サービスを利用する行為
 - (13) ウィルス等の有害なコンピュータプログラム等を送信または添付する行為
 - (14) 無断で第三者に広告、宣伝もしくは勧誘のメールを送信する行為、または第三者が嫌悪感を抱く、もしくはそのおそれのあるメール(嫌がらせメール)を送信する行為
 - (15) 第三者の設備等または本サービス用設備等の利用もしくは運営に支障を与える行為、または与えるおそれのある行為
 - (16) 所属する業界団体等の内部規則に違反する行為
 - (17) ビーウィズが本サービスの運営において必要な範囲で複製、改変、送信その他の行為を行うことが第三者の知的財産権等、プライバシー、名誉、信用、肖像権、その他一切の権利または利益の侵害に該当することとなる情報を、ビーウィズに送信する行為
 - (18) 特定個人情報（以下「マイナンバー」といいます）、EU 一般データ保護規則における保護の対象となる情報を、ビーウィズに送信する行為
 - (19) 前各号の行為を直接もしくは間接的に惹起しまたは容易にする行為
 - (20) その他、客観的かつ合理的な理由によりビーウィズが不適切と判断する行為
 - (21) 第28条(反社会的勢力に関する表明・保証)の表明に違反する行為
2. 利用者は、前項各号のいずれかに該当する行為がなされたことを知った場合、または該当する行為がなされるおそれがあると判断した場合は、直ちにビーウィズに通知するものとします。
 3. ビーウィズは、本サービスの利用に関して、利用者の行為が第1項各号のいずれかに該当するものであることまたは利用者の提供した情報(データ、コンテンツを含み、以下同じとします)が第1項各号のいずれかの行為に関連するものであることを知った場合、事前に利用者に通知することなく、本サービスの全部または一部の提供を一時停止し、または第1項各号に該当する行為に関連する情報を削除することができるものとします。ただし、ビーウィズは、利用者の行為または利用者が提供または伝送する(利用者の利用とみなされる場合も含まれます)情報を監視する義務を負うものではありません。

(反社会的勢力に関する表明・保証)

第28条 ビーウィズならびに利用申込者および利用者は自己または自己との間において実質的な支配従属関係にある者が、暴力団、暴力団関係企業、団体その他反社会的勢力(以下、「反社会的勢力」といいます)でないこと、反社会的勢力の支配・影響を受けていないこと、および自己の役員、従業員、関係者等が反社会的勢力の構成員または関係者ではないこと、また反社会的勢力に便宜等を供与しないことを表明し、保証するものとします。

第5章 ビーウィズの義務等

(善管注意義務)

第29条 ビーウィズは、本サービスの利用期間中、善良なる管理者の注意をもって本サービスを提供するものとします。

2. ビーウィズは、利用者に対し、利用規約等の定めを超えて如何なる義務も負わないものとします。

(保守・障害対応)

第30条 ビーウィズは、善良な管理者の注意をもって本サービスにかかる保守および各種メンテナンスを定期または随時に行います。なお、これらのメンテナンス等は、ビーウィズ所定のシステム事業者等が行う場合があります。

2. ビーウィズは、本サービス用設備に障害があることを知ったときは、遅滞なく本サービス用設備を修理または復旧します。
3. ビーウィズは、本サービス用設備等のうち、本サービス用設備に接続するビーウィズが借り受けた電気通信回線について障害があることを知ったときは、当該電気通信回線を提供する電気通信事業者に修理または復旧を指示するものとします。
4. 外部サービス等の利用に起因する不具合等(当該外部サービスの変更・停止・廃止等を含みます。以下、本項において同じ)が判明した場合、ビーウィズにて可能な問題解決、修正版の適用等の対策を講じるものとします。ただし、不具合等が判明した外部サービス等の開発・提供元による改善が実施されない、または実施された場合であっても本サービスに適用することが困難なことにより不具合等が解消しない場合も、当該不具合等につきビーウィズはその責任を負わないものとします。

第6章 利用者情報等の取り扱い

(各種データの取り扱い)

第31条 ビーウィズは、本サービス遂行のため利用者より各種データの提供を受けた場合、これらを秘密情報として取り扱った上で、その管理に必要な措置を講ずるものとし、利用者の承諾なく第三者に開示または提供しないものとします。ただし、各種データに含まれる情報のうち、次の各号のいずれかに該当する情報についてはこの限りではありません。

- (1) ビーウィズが秘密保持等の義務を負うことなく既に保有している情報

- (2) ビーウィズが秘密保持等の義務を負うことなく第三者から正当に入手した情報
 - (3) 利用者から提供を受けた情報によらず、独自に開発した情報
 - (4) 利用規約等に違反することなく、かつ、受領の前後を問わず公知となった情報
2. 前項各号の定めにかかわらず、ビーウィズは、各種データのうち法令の定めに基づきまたは権限ある官公署からの要求により開示すべき情報を、当該法令に定める開示先または当該官公署に対し開示することができるものとします。この場合、ビーウィズは、関連法令に反しない限り、当該開示前に開示する旨を利用者に通知する義務を負わないものとします。
 3. ビーウィズは、各種データを本サービス遂行目的の範囲内でのみ使用し、本サービスの遂行上必要な範囲内で、使用、複製もしくは改変または翻案等(以下本項においてあわせて「複製等」といいます)することができるものとします。この場合、ビーウィズは、当該複製等された秘密情報についても、本条に定める秘密情報として取り扱うものとします。なお、本サービス遂行上必要な範囲を超える複製等を行う場合は、あらかじめ利用者から書面による承諾を受けるものとします。
 4. 前3項の規定に関わらず、ビーウィズが必要と認めた場合には、第16条(委託)所定の委託先に対して、委託のために必要な範囲で、利用者から事前の書面による承諾を受けることなく各種データ(次条に規定する個人情報に含まれるものを除く)を開示することができます。ただし、この場合、ビーウィズは委託先に対して、本条に基づきビーウィズが負う秘密保持義務と同等の義務を負わせるものとします。

(個人情報の取り扱い)

- 第32条 ビーウィズは、利用者情報、各種データに含まれる個人情報(個人情報の保護に関する法律:平成15年法律第57号に定める「個人情報」をいいます。以下同じとします)を本サービス遂行目的の範囲内でのみ使用し、第三者に開示または提供しないものとするともに、個人情報に関して個人情報の保護にかかる関連法令およびガイドライン等を遵守するものとします。なお、本サービスではマイナンバーは一切取り扱わないものとします。
2. ビーウィズは、前項の規定により取得した個人情報については、ビーウィズが別に定め、webサイト等に掲載する「プライバシーポリシー」に基づき取り扱うものとします。なお、本規約と当該プライバシーポリシーに齟齬がある場合、本規約の定めが優先して適用されるものとします。
 3. 利用者は、次の目的において、ビーウィズが利用者情報に含まれる個人情報を使用することを予め承諾し、本人から、本サービスを通じたビーウィズへの個人情報の提供について同意を得るものとします。
 - (1) 利用者からの問合せ・依頼への対応、ユーザーサポートのため(企業/団体名、部署名、氏名、住所、電話番号、電子メールアドレス、支払情報、『ドコビジタ』利用時の位置情報およびその取得時刻)
 - (2) 利用者情報の登録および管理のため(企業/団体名、部署名、氏名、住所、電話番号、電子メールアドレス、支払情報)
 - (3) 利用者への新規サービスなどの各種案内・通知、本サービスの利用状況、利用環境を含む顧客満足度調査の実施のため(企業/団体名、部署名、氏名、住所、電話番号、電子メールアドレス)
 4. 個人情報の取り扱いについては、前3項の規定のほか、第31条(各種データの取り扱い)第3項の規定を準用するものとします。
 5. 本条の規定は、利用契約終了後も有効に存続するものとします。

(ビーウィズによる利用データの使用)

- 第33条 利用者は、前二条にかかわらず、ビーウィズまたは外部サービス等を提供する事業者が、利用者情報、各種データ(以下「利用データ」といいます)を、いずれも個人情報を含まない形式で以下の目的において無償で使用し、利用契約終了後も保持する可能性があることを、予め承諾するものとします。
- (1) 『ドコビジタ』へのアクセス頻度、データの容量・数量等の情報を抽出し、統計用として本サービスの提供時の情報として使用する場合
 - (2) 個人を特定しない形式で本サービスの品質向上、機能追加、機能改善・改良を目的として使用する場合
2. ビーウィズは、利用データを、利用者の許可無く第三者に開示せず、本サービスの業務提携先、業務委託先以外の第三者に提供しないものとします。ただし、利用者が本規約の禁止行為に違反する違法行為を行った場合などの事情があるときは、利用データを捜査・訴追・訴訟遂行・損害回復等に必要な範囲で捜査機関や第三者に開示できるものとします。また、それにより利用者または第三者に生じた損害について、ビーウィズは、一切の責任を負わないものとします。
 3. 本条第1項の規定に基づき使用する目的で作成された加工データの権利の一切はビーウィズに帰属するものとします。
 4. 本条の規定は、利用契約終了後も有効に存続するものとします。

第7章 紛争処理・損害賠償等

(第三者との紛争の処理)

- 第34条 利用者が、ビーウィズの本サービスの提供に関連して第三者から苦情等を受け、または第三者との間で紛争が生じた場合、利用者は、直ちにその内容をビーウィズに通知するものとし、ビーウィズと共同で解決にあたるものとします。
2. ビーウィズが、利用者による本サービスの利用に関連して第三者から苦情等を受け、または第三者との間で紛争が生じた場合、利用者は、利用者の費用と責任において、当該苦情等または紛争を処理し、その進捗および結果をビーウィズに報告すると共に、ビーウィズに一切の迷惑をかけないものとします。

(損害賠償)

- 第35条 利用者は、本サービスの利用に関連して、故意または過失によってビーウィズに損害を与えた場合、ビーウィズに対して当該損害を賠償する義務を負います。
2. ビーウィズは、本サービスの提供に関連して、故意または過失によって利用者に損害を与えた場合、利用者に対して当該損害を賠償する義務を負います。ただし、その場合、債務不履行、不当利得、不法行為等の請求原因の如何によらず、現実生じた通常損害に限るものとし、予見の有無を問わず特別の事情から生じた損害および逸失利益等については賠償範囲に含まないものとします。
 3. 前項に基づきビーウィズが利用者に対して負う損害賠償責任額の範囲は、損害発生月における利用者とビーウィズとの利用契約における本サービスの従量課金分を含む実績請求金額を上限とするものとします。ただし、当該損害がビーウィズの故意または重大な過失に起因する場合は、この限りではありません。

(免責)

第36条 ビーウィズは、以下の事由により利用者に発生した損害については、賠償の責任を負わないものとします。

- (1) 地震、台風、水害、噴火、その他の自然災害、戦争、内乱、騒乱、内外法令の制定・改廃、火災、疫病、感染症のまん延(その恐れがあるときを含む)、交通機関のマヒ、停電(電力会社による計画停電・輪番停電等を含む)、サイバーテロ、国・自治体等の公権力による命令・処分・指導等、争議行為、およびその他ビーウィズの合理的管理の及ばない事由に起因する損害
 - (2) 利用者設備の障害または本サービス用設備までのインターネット接続サービスの不具合等、利用者の接続環境の障害等に基づく損害
 - (3) 本サービス用設備からの応答時間等インターネット接続サービスの性能値に起因する損害
 - (4) ビーウィズが第三者から導入しているコンピュータウイルス対策ソフトについて当該第三者からウィルスパターン、ウイルス定義ファイル等を提供されていない種類のコンピュータウイルスの本サービス用設備への侵入に起因する損害
 - (5) 善良なる管理者の注意をもってしても防御し得ない本サービス用設備等への第三者による不正アクセスまたはアタック、通信経路上での傍受に起因する損害
 - (6) ビーウィズが定める手順・セキュリティ手段等を利用者が遵守しないことに起因して発生した損害
 - (7) 本サービス用設備のうちビーウィズの製造に係らないソフトウェア(OS、ミドルウェア、DBMS等を含む)、データベースもしくはハードウェア、または外部サービス等の不具合等に起因して発生した損害
 - (8) 電気通信事業者の提供する電気通信役務または外部サービス等の不具合に起因して発生した損害
 - (9) 刑事訴訟法第218条(昭和23年法律第131号:令状による差押え・搜索・検証)、犯罪捜査のための通信傍受に関する法律の定めに基づく強制の処分その他裁判所の命令もしくは法令に基づく強制的な処分に起因するものうち、ビーウィズの責に帰すべからざる事由による損害
 - (10) ビーウィズの責に帰すべからざる事由による各種データの伝送途中での事故に起因する損害
 - (11) その他ビーウィズの責に帰すべからざる事由に起因する損害
2. ビーウィズは、利用者が本サービスを利用することにより利用者と第三者との間で生じた紛争(第34条(第三者との紛争の処理)第1項に従って、利用者から遅滞なくビーウィズに通知された紛争を除きます)等について一切責任を負わないものとします。

(合意管轄)

第37条 利用者とビーウィズの間で訴訟の必要が生じた場合には、東京簡易裁判所または東京地方裁判所をもって専属的合意管轄裁判所とします。

第8章 一般条項

(権利義務譲渡の禁止)

第38条 利用者は、あらかじめビーウィズの書面による承諾がない限り、利用契約上の地位、利用契約に基づく権利または義務の全部または一部を第三者に譲渡してはならないものとします。

(法令に規定する事項)

第39条 本サービスの提供または利用にあたり法令に定めがある事項については、その定めるところによります。

(準拠法)

第40条 利用規約等の成立、効力、履行および解釈に関する準拠法は、日本法とします。

(協議等・分離性)

第41条 利用規約等に規定のない事項および規定された項目について疑義が生じた場合は当事者間で誠意をもって協議の上解決することとします。なお、利用規約等の何れかの部分が無効である場合でも、利用規約等全体の有効性には影響がないものとし、かかる無効の部分については、当該部分の趣旨に最も近い有効な規定を無効な部分と置き換えるものとし、

以上

別紙1(料金表)

料 金 表

1. サービス利用料

項目	金額	備考
月額利用料	¥4,980 円	日割り計算は実施しない
従量課金分	¥55 円/件 (訪問)	
オプション① SMS 料金 (※)	+¥15 円/通 (送信先・文字数)	SMS 利用時の送信先および文字数に応じた金額を従量課金分に加算
オプション② API 機能連携	別途お見積り	

※ SMS 料金は、利用者が設定するメッセージの送信先の数および文字数により変動します。

<文字数による通数のカウント方法>

- ・ 70 文字まで： 1 通分
- ・ 71 ~132 文字： 2 通分
- ・ 133~198 文字： 3 通分

* 1 メッセージあたりの文字数上限は 198 字

<SMS 料金の課金例>

- ・ 例 1：訪問 1 件あたりの SMS 送信先が 1 件、文字数が 100 文字の場合
送信先 1 件 × (100 文字=2 通分) × 15 円 = 30 円
- ・ 例 2：訪問 1 件あたりの SMS 送信先が 2 件、文字数が 150 文字の場合
送信先 2 件 × (150 文字=3 通分) × 15 円 = 90 円

以上